

竹刀で「面!」剣道体験

幕別の少年団 保育所で教室



剣道を体験する園児

【幕別】札内さかえ保育所（菅野陽子所長、園児116人）で20日、幕別剣道少年団（鈴木琉斗団長、22人）による剣道教室が開かれた。

子どもにも剣道に興味を持

ってもらおうと少年団が企画。さまざまなスポーツに触れる機会をつくっている保育所の活動の一環として実施した。

少年団の小・中学生9人が実技や礼などの見本を見

せた後、年中・年長の園児29人が竹刀を握って剣道に挑戦。

「面!」と大きな声を出して団員に打ち込み、そんきよや礼なども「しっかり相手の目を見て」と教えられながら、真剣に取り組んだ。

園児たちは「楽しかった」「剣道をやってみたい」と笑顔。鈴木団長（幕別小6年）は「園児が」かわいかった。ぜひ剣道を一緒にやりたい」と話した。

指導した幕別剣道連盟の原正満会長は「剣道は小さい時から礼やあいさつが身に付き、人の痛みも分かるようになる」とし、今後他の保育所などから希望があれば剣道教室に向く考え。（眞尾敦）